



道央・道南に適した、多収で 病害に強いあずき「十育155号」

〈道央以南の転換畑地帯の小豆栽培〉

- ・ 茎疫病など土壌病害の被害
- ・ 夏季が高温なため小粒で色が濃い



【十育155号の主な特性】

生産と品質の
安定

- 多収である
- 粒が大きく、調製歩留まりが高い
- 落葉病(レ-ス1)、茎疫病(レ-ス1,3) 抵抗性

主な農業特性（平成18～21年の平均）

試験場所	品種名 または 系統名	成熟 期 (月日)	倒 伏	主茎 長 (cm)	子実 重 (%)	百粒 重 (g)	品質 (等級)
中央・ 道南農試	十育155号	9.8	少	65	108	16.1	3上
	エリモショウス	9.9	少	57	100	13.2	3上
	しゅまり	9.8	少	59	94	12.6	3中
十勝農試	十育155号	9.27	多	96	110	18.8	4中
	エリモショウス	9.24	中	73	100	14.6	3中
	しゅまり	9.23	中	78	94	15.0	4上

種皮色が淡いため、道東では等級が劣るが、道央では『十勝産エリモショウス』に近い明るい種皮色となり、粒張りも良いため等級が優る場合が多い

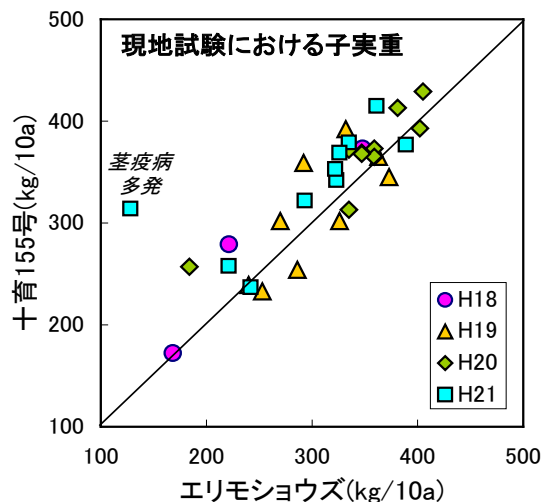


栽培上の注意

落葉病(レ-ス1)、茎疫病(レ-ス1,3)に抵抗性を持つが、栽培にあたっては適正な輪作を守る



長茎で、茎の上部が蔓化することがあるが倒伏や収穫への支障は見られていない



普及態度

道央以南の温暖な地域(地図参照)を中心として、エリモショウス等の一部に置き換えて普及する

普及見込み面積：3,600ha



北海道立十勝農業試験場 作物研究部 小豆菜豆科
(農林水産省 小豆育種指定試験地)

〒082-0081 北海道河西郡芽室町新生南9線2番地

電話番号：0155-62-9832 e-mail: seika@agri.pref.hokkaido.jp